



—北アフリカ地域ニュース—

リビア：カッターフィ指導者によるスイスに対するジハード宣言
(2月16日付ノイエ・チュルヒャー・ツァイトウンク紙)

2月26日付ノイエ・チュルヒャー・ツァイトウンク紙は、ロイター通信をキャリーして、リビアのカッターフィ指導者がスイスにジハード（聖戦）を呼びかけたとの記事を掲載している。概要は以下のとおり。

1. 2月25日、カッターフィ指導者はリビア東部のベンガジでの預言者ムハンマドの生誕に因んだ祝典での演説に於いて、スイスでミナレットの新規建設禁止を求めるイニシアティブが昨年11月の国民投票で承認されたことに関し、「アッラーの館を破壊する不信心かつ不実なスイスに対し、ジハードを宣言すべきだ」、「スイスに対するジハードは、シオニズムに対する戦い、外国の侵略に対する戦いであり、テロではない」と述べた。
更に、カッターフィ指導者は、スイスと付き合いを持つイスラーム教徒は背教者であり、「反イスラーム、反ムハンマド、神とコーランに背く者だ」と述べた。